

- ◁ 10月26日
・双葉地方町村議会議長会議
(郡山市県中浄化センター)
- ◁ 10月27日
・福島県町村議会議員研修会
(郡山市ユラックス熱海)
- ・全国原子力発電所立地市町村議会議長
会役員会(都市センターホテル)
- ◁ 10月28日
・双葉町役場福島支所開所式
(郡山市福島支所)
- ◁ 11月7日
・平成23年第3回臨時会
(加須市騎西総合支所議場)
- ◁ 11月29日
・福島県町村議会議長会新人議員研修会
(ホテル福島グリーンパレス)
- ◁ 11月30日
・平成23年第4回臨時会
(加須市騎西総合支所議場)
- ◁ 12月1日
・双葉地方町村長・議会議長合同会議
(ビッグパレットふくしま)
- ◁ 12月3日
・原子力の完全賠償を求める双葉地方総
決起大会
(いわき明星大学 児玉記念堂)
- ◁ 12月6日
・双葉地方町村議会議長・事務局長合同
会議(福島県林業会館)
- ◁ 12月9日
・平成23年度双葉町表彰審査会
(旧騎西高校会議室)
- ◁ 12月14日
・議会運営委員会、議会全員協議会
(旧騎西高校会議室)
- ◁ 12月18日
・国と被災市町村との意見交換会
(ホテルサンルートプラザ福島)
- ◁ 12月19日・21日
・平成23年第4回双葉町議会定例会
(加須市騎西総合支所議場)
- ◁ 12月26日
・双葉地方広域市町村圏組合議会定例会
(郡山市県中浄化センター)
- ◁ 12月28日
・双葉地方電源地域政策協議会
(ホテルサンルートプラザ福島)
- ◁ 1月5日
・双葉地方電源地域政策協議会
(福島県知事室)
- ◁ 1月6日
・議会全員協議会
・議会だより編集委員会
(旧騎西高校会議室)
- ◁ 1月8日
・双葉町成人式
(郡山ビューホテルアネックス)
- ◁ 1月16日
・第8回原発サミット実行委員会
(都市センターホテル)
- ◁ 1月17・18・19・20・22・23・25日
・議会と町民との懇談会
- ◁ 1月20日
・双葉地方町村議会議長・事務局長合同
会議
・双葉郡選出県議会議員との懇談会
(郡山市県中浄化センター)

議会だより

ふたば

初 議 会

新メンバーで

スタート！(議席番号順)



3 番 岩本久人議員
2 番 白岩寿夫議員
1 番 羽山君子議員



7 番 伊澤史朗副議長
6 番 清川泰弘議員
5 番 菅野博紀議員
4 番 高萩文孝議員

- 《総務教育常任委員会》
委員長 岩本久人
副委員長 白岩寿夫
委員 羽山君子 佐々木清一
- 《産業厚生常任委員会》
委員長 菅野博紀
副委員長 高萩文孝
委員 清川泰弘 伊澤史朗
- 《議会運営委員会》
委員長 岩本久人
副委員長 菅野博紀
委員 白岩寿夫 高萩文孝
伊澤史朗
- 《双葉地方広域市町村圏組合議会議員》
佐々木清一 岩本久人 菅野博紀
- 《双葉地方水道企業団議会議員》
伊澤史朗 白岩寿夫
- 《議会選出監査委員》 高萩文孝

災害版 第3号

発行：双葉町議会
〒347-0105 埼玉県加須市騎西 598-1
(旧騎西高校内)
☎ 0480-73-6880(代表)

【平成23年第4回臨時会～11月30日～】

議員改選後、初の議会が11月30日に開かれました。正副議長選挙、議席の指定、各常任委員会の選任等、議会の新しい議会構成が決まりました。

町長から提案された3議案(契約の締結、条例の一部改正、監査委員の選任)をいずれも原案のとおり可決しました。



8 番 佐々木清一議長

『議長就任のあいさつ』

新春を迎え謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年の11月20日、議員として当選することができ、30日の臨時議会において議長を拝命することになりました。浅学非才であります、町民の負託に応えることが出来るよう、しっかりと務めさせていただきます。
さて、昨年の3月11日の

東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所での事故発生、全町民が避難を余儀なくされてから早10ヶ月が過ぎました。未だに何の進展もありません。全国に避難されている町民は将来を想像することもできません。
長い避難生活の中で家族の問題を初め、子供たちの健康、仮設住宅での不便さ借上住宅の孤独さ等、精神的な苦痛をさ

今、国は私達のことを本当に分かっているのでしょうか。疑問を感じないわけにはいきません。賠償の問題も終わっていません。生活に不安を感じているでしょう。国は除染の問題、中間貯蔵の事を一方的に進めようとしています。
双葉町議会8名は、一致団結してこれらの問題に対して、町民の代表として納得いくまで戦うことを約束します。
町民の皆様には健康に十分留意をされ、お互いに助け合い頑張ってください。

『町民の皆様の避難状況』

(平成24年1月6日現在)
福島県内 3,389人
福島県外 3,639人

『編集後記』

私たちが双葉町議会議員8名で新年がスタートしました。未だ変わらぬ状況の中、私たち被災者にとって厳しい冬を迎え、不自由な生活をされておられることを思うと心がいたみます。
双葉町においては大きな問題が山積みしておりますが、町民の皆様の声に耳を傾け、復興・復旧に向け共に歩んでいきたいと思っております。
議会だよりが町民の皆様の中

- 【編集委員】
委員長 菅野博紀
副委員長 白岩寿夫
委員 羽山君子
委員 高萩文孝



議会と町民との懇談会
【1月17日～25日】

500名を超える町民の皆様にご参加いただきました。
次回発行の「議会だより」で詳しい内容をお知らせします。

平成23年第4回

定例会

12月19日～21日

このようなことが決まりました

《補正予算》

【平成23年度一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ1億5,577万9千円を追加、総額57億7,555万6千円

【平成23年度国民健康保険特別会計補正予算】

歳入歳出の総額に変更なし、総額10億4,302万1千円

【平成23年度公共下水道事業特別会計補正予算】

歳入歳出それぞれ1,330万9千円を減額、総額3億5,202万6千円

【平成23年度介護保険特別会計補正予算】

歳入歳出それぞれ1億8,245万5千円を追加、総額7億8,802万9千円

【平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算】

歳入歳出それぞれ3,506万9千円を減額、総額2,982万5千円

《第3回臨時会～11月7日～》

【双葉町特定住所移転者に係る申出に係る条例の制定】

住所の移転を余儀なくされた住民の皆様に対し本人の申し出により県や町からの情報提供をすることが出来るようにするため

【平成23年度一般会計補正予算】総額56億1,977万7千円

【双葉町議会委員会条例の一部改正】各常任委員会的人数を6名から4名に

《条例の制定・一部改正・表彰同意》

【東日本大震災等による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例の制定】

・原子力災害対策特別措置法により避難を余儀なくされるなど被害を受けた介護保険法第9条第1項に規定する第一号被保険者が納付すべき平成22年度及び23年度の保険料を減免する

【議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正】

・議会議員が月の中で死亡以外により退職や辞職等の場合、報酬を日割りで支給する
・事由によって期末手当の支給制限及び一時差し止めができることとする

【職員の給与に関する条例の一部改正】

・職員が月の中で死亡以外の退職をした場合、給与を日割りで支給する・給料月額引き下げ

【双葉町税条例の一部改正】

・寄附金税額控除の適用化減額の引き下げ、町民税等の脱税犯に係る懲役刑の上限の引き上げ等

【双葉町災害援護特別資金貸付基金条例の一部改正】

・一人につき5万円以下の貸付金には、連帯保証人は不要とする

【双葉町特別功労表彰の同意を求めることについて】

・木幡敏郎氏 町議会議員18年間、地方自治の進展に尽力され、さらに町監査委員4年間、町農業委員会委員18年間、町政の振興に多大な貢献をされた

平成23年第4回定例会は、12月19日から21日までの3日間の日程で開かれました。条例の制定・改正など11議案が提出され、すべて原案どおり可決しました。内容は、次のとおりです。

【傍聴者数】

・19日・・・11人
・20日・・・15人
・21日・・・6人

合 計 32人

↓

・双葉町民 5人
・町 外 4人
・報道関係 23人

【一般質問】

12月定例会の一般質問は、20日に行われ、3名の議員が質問しました。内容を要約してお知らせします。

▼菅野博紀議員

○町政全般について

【質問】避難者に対しての情報提供は、ホームページが中心で他の方法は考えていないのか

【答弁】デジタルフォトフレームの導入を検討している

【質問】各仮設住宅で、自治会をつくる際の行政としての対応・予算等は

【答弁】事業内容や必要性等により支援の可否を検討する

【質問】賠償補償問題への対応は

【答弁】「和解仲介申立書」を作成中で、年内に皆様へお届けする

【質問】町独自の健康診断を行うことは考えていないのか

【答弁】現段階では、福島県が実施主体となり実施している検査の進み具合と、民間医療機関の実施状況を見たいと考えている

【質問】町政懇談会等を聞く計画はあるのか

【答弁】町としても、できる限りの行政サービスと避難生活における支援対策を全力で取り組んでいる町民の皆様の率直な意見をいただく機会を作りたい

▼岩本久人議員

○町長の政治姿勢について

【質問】埼玉県旧騎西高校に避難している人数は

【答弁】12月15日現在、563人

【質問】旧騎西高校の避難所としての閉鎖はいつか

【答弁】状況を見極めて総合的に判断したい

【質問】戻る・戻れないどちらを前提にした町づくりをするのか

【答弁】戻ること前提とした町づくりを進めたい

【質問】町復興計画の策定期間は

【答弁】手順を踏まえながら策定していきたい

【質問】町復興計画において住民アンケート実施の考えは

【答弁】基礎データの調査として実施したい

【質問】町独自のモニタリング調査の予定は

【答弁】現段階での町独自のモニタリング実施計画は未定

【質問】除染モデル事業を中止したが、町の除染計画は

【答弁】今後の状況を見て判断したい

○地域「コミュニティの再生について

【質問】地域別避難者名簿作成する考えはあるか

【答弁】避難者名簿は所在情報等により作成している 外部への提供は個人情報保護法等により慎重に対応している

【質問】避難地でのイベントや祭り等へ補助金を出す考えがあるか

【答弁】双葉町の祭り・イベント事業補助金交付要綱を制定した

○仮設住宅・借上げ住宅の今後の対応について

双葉町に寄せられた義援金

平成23年12月30日現在で、双葉町に約4億4千万円の義援金が寄せられました。

下記のとおり町民の皆様に分配されています。

記

○第一次 約2億9千万円(一人当たり4万円)

○第二次 約1億1千万円(一人当たり1万5千円)

【質問】仮設・借上げ住宅の入居期限はいつまでか 延長はあるか
【答弁】法律で原則1年、最長2年とされている 政令で特例と指定された場合は、厚生労働省に協議をすることで延長することができるとされている
【質問】県内仮設住宅の自治会設立状況は
【答弁】6箇所は設置済み、福島市の1箇所は年内設立に向け準備中
【質問】避難者支援に格差があるが町の対応は
【答弁】本格的な冬を迎え、様々なことが想定される 避難生活が快適に過ごせるよう平等な生活支援を実施していく
【質問】仮設住宅内に福祉施設が整備されているが今後の対応は
【答弁】高齢者のニーズを踏まえた介護サービスの展開を考えている
(その他の質問)
○行政機能の連携について
▼白岩寿夫議員
○避難対応について
【質問】子供たちに対し、どのような支援をするのか
【答弁】引き続き格差のない支援や的確な情報提供をしていく
【教育長答弁】県、国の関係省庁に対し、避難先の学校において、安定した心で楽しく充実した学校生活を送ることができるよう財政支援を初め、心のケアなどの支援を要請していく
○住民の補償について
【質問】町民のために町は、国と東京電力にどのような補償を求めているのか
【答弁】町独自の「やさしい原発事故損害賠償申出書」を作成し、町の弁護士を立ち上げ、説明会・相談会等を開催し支援していく
○役場機能について
【質問】役場機能を県内という町民の声が聞こえる中、町長の考えは
【答弁】総合的に今後のまちの復興のあり方について判断する必要がある、県内に避難されている町民の方の不安、不便さを解消するため福島支所も設置した
○義援金について
【質問】義援金の収支報告は
【答弁】(左の枠内をご覧ください)